

2008年パラリンピック北京大会

開催地 中華人民共和国 北京市

開催期日 2008年9月06日（土）開会式

2008年9月17日（日）閉会式

2008年パラリンピック北京大会への推薦について

パラリンピック北京大会の選手決定については、日本パラリンピック委員会（JPC）が最終決定する。

日本身体障害者陸上競技連盟は、パラリンピック北京大会の派遣元である、日本パラリンピック委員会（JPC）へ選手を推薦するための条件を以下のように定める。

1. 日本身体障害者陸上競技連盟の登録会員であること。
2. 国際パラリンピック委員会（IPC）が発表した標準記録突破期間(2006年10月1日～2008年7月1日)の期間の内2006年10月1日～2008年のJPCが指定した推薦期日締切日（例：アテネパラリンピック大会の場合、開催年の4月1日）の2週間前までに、標準記録を突破した選手（トラック種目・フィールド種目）を①②③④の順で上位推薦する。

① 標準記録突破の指定大会において、A標準記録を突破した選手で3位以内に入賞可能な選手。

② 標準記録突破の指定大会において、A標準記録を突破した選手で8位入賞可能な選手。

③ 標準記録突破の指定大会において、A標準記録を突破した選手。

※ 但し、①～③については1ヶ国同一種目に3名の制限があるため、推薦条件をクリアした選手が4名以上になった場合、上位の記録の選手から推薦する)

④ 標準記録突破の指定大会において、B標準記録を突破した選手。

※ 但し、1ヶ国同一種目に1名の制限があるため、推薦条件をクリアした選手が複数名になった場合、上位の記録の選手から推薦する)

⑤ ①～④の選手で、競技種目や競技グループが異なる選手間の推薦順位が同位になった場合、国際パラリンピック委員会（IPC）のランキング上位の記録を優先する。

3. 車いすマラソンの選手推薦については、以下のように定める。

① 第27回大分国際車いすマラソン大会(2007年10月27日開催予定)を推薦のための指定大会とする。(ハーフマラソンは除く)

② 上記大会で、男子 T54 グループは、1 時間 26 分 00 秒以内、女子 T54 グループは、1 時間 39 分 00 秒、男子 T52 グループは、1 時間 53 分 00 秒以内の制限タイム内でフィニッシュした選手の内、各グループ上位選手（国内 1 位の選手）から順次推薦の対象とする予定である。（ただし、IPC からの各国人数割り当てや標準記録等の詳細が未発表のため、制限タイムを突破しても推薦の対象とならない場合もある）

※ ②を原則とするが、大会当日の気象条件によっては記録の上位選手を推薦する場合もある。

・標準記録突破の指定大会については次ページに記載

2006.12.8

標準記録突破の指定大会

標準記録突破の指定大会を以下の通りとする。

1. 九州パラリンピック陸上競技大会
2. **大分陸上 2007 (指定大会として追加)**
3. 日本身体障害者陸上競技選手権大会
4. 関東身体障害者陸上競技選手権大会
5. ジャパンパラリンピック陸上競技大会
6. フェスピック クアラルンプール大会
7. 2008VISA ワールドカップイギリス大会
8. 第3回 IBSA 世界選手権大会
9. 2007 世界陸上大阪大会 男女車いす 1500m 決勝
10. 第27回大分国際車いすマラソン大会 (ハーフマラソンは除く)
11. 国外で開催されるIPC公認大会
12. 国外で開催されるIPC傘下の下部組織の公認大会

(IWAS, IBSA, CP-ISRA)

国外で開催される11.12の大会(6~8の大会は除く)においては、大会開催日の1ヶ月前までに、別紙1(大会参加申請書1大会1枚)の書類を提出し、大会終了後1ヶ月以内に、別紙2(大会結果報告書1大会1枚)を提出しなければ、その記録は認めない。(事後報告の記録は、一切受け付けない)

大分陸上 2007 については、平成 19 年 4 月 1 日に指定大会になりました。